

研究テーマ

「医療通訳に関する研究」

研究室の紹介

当研究室では、医療現場のコミュニケーションの中でも、外国人患者と医療従事者の言語的課題に焦点を当て、直接的な言語サポートができる「医療通訳」に関して研究します。

主な研究テーマ

- 医療通訳養成研修に関する研究
- 医療通訳の現状と課題

主な担当講義科目

「学術英語読解」

研究紹介

- ・青森県「医療通訳養成研修」受講者の受講背景及び通訳技術と知識に関する考察.
- ・The Language Barrier in Healthcare Setting in Regional Japan: Assessing the Need for Trained Medical Interpreters.
- ・Communication Anxiety Experienced in Medical Situations by Foreign Residents Living in Japan.
- ・Z県在住外国人の医療現場における言語コミュニケーション上の問題点-医療通訳事情の改善に関する考察-
- ・日本の医療通訳の課題.
- ・震災時における聴覚障害者の情報授受の課題-人と人との関わりとコミュニケーションの視点から-
- ・日本における医療通訳の現状と課題-外国人診療に関する調査から-

活動実績

2013年から2019年までの7年間にわたり、青森県初の「医療通訳養成研修」を企画・実施してきました。本研修は、医療通訳に必要な「Ⅰ. 通訳理論と技術 Ⅱ. 倫理とコミュニケーション Ⅲ. 医療通訳に必要な知識」の基本的概念について学ぶことを目的とし、参加者が県内の保健医療の現場で医療通訳として活躍できるように企画したものです。国内・県内の医療通訳に関わる現状と課題を共有し、外国人患者の対応に必要な基本的知識や技術を習得することを目指した研修です。

大学院進学を希望する方へひと言

医療と言語の問題に興味を持ち、医療通訳に関するテーマを追究したい方は、どうぞご連絡ください。